



<http://www.sapporo.hokkaido-c.ed.jp>

学校通信 第5号

令和5年(2023)7月25日発行

発行人 北海道札幌聾学校

校長 四木 定宏

TEL 011-716-2979

FAX 011-758-7617

HPはこちらです↓



「ありがとう、先生」

校長 四木 定宏

私の集団生活は、2歳の時に保育園から始まりました。集団生活を行う際、多くの場合は「先生」と呼ばれる大人が、側で支えたり見守ったりしてくれます。子どもの頃の担任の先生の記憶というものは、何十年経っても薄れることはありません。

保育園の担任は、生まれて初めて出会った先生でした。農家の長男で甘えっ子の私に、いつも優しく丁寧に接してくれました。大好きな先生でしたので、先生がお嫁さんに行くと聞いた時、とても寂しかったことを思い出します。

小学校低学年の担任はベテランの先生で、まだ心が幼児の私には少し怖くも感じました。私の実家の近くにご自宅があり、周りは農家ばかりの田舎に学校の先生が住んでいることを、とても不思議に感じました。厳しい先生でしたが、大事なことを丁寧に教えてくれる低学年にぴったりの先生でした。

小学校高学年の担任は、40歳代だったように思いますが、片道30キロ弱の道のりを毎日バイクで通勤していました。多くの先生は、車かバスを乗り継いで通勤していたので、それが普通と思っていた私は、その型破りさに驚きました。私の話にしっかり耳を傾けていただき、やりたいことを認めてくれるなど、大きな手で包んでくれる大人の先生でした。

中学の時の担任は、転勤してきたばかりの数学の先生でした。オーディオやアマチュア無線などのメカや溪流釣りなど多趣味で、中でもスキーはインストラクター並の腕前でした。好奇心旺盛だった私はすっかり先生の虜になってしまい、先生の家に泊まりに行っては(そんなことが許される時代でした)オーディオの話やスキー場に連れて行ってもらいました。今も続けているスキーは、この先生の影響です。大好きな先生でしたが、私が父親に反抗した際に、本気で叱られた時の顔は忘れることができません。

高校では、ユーモアあるトークでホームルーム経営をする先生に出会い、大学のゼミの先生は、急げ学生(私のこ

と)には厳しい先生でしたが、ラグビーと山田洋次をこよなく愛する情の厚い先生でした。さらに、教員になってからも、子どもとの関係づくりが上手い先生、分かりやすい授業をする先生、教員の仕事について分かりやすく説明してくれる先生、仕事と遊びをしっかりと使い分けられる先生など、魅力的な先生と出会うことができました。

私がこれまでに出会った先生方は、皆さん素敵な大人で、誰1人として同じカラーの方はいませんでした。成長段階に応じて、適度な力加減で押ししたり引っ張ったり促したりと、私の自主性の成長を支えていただいたように思います。子どもたちには、真似したいとか憧れを抱くような先生に出会ってほしいと思いますし、教員には子どもが憧れるような魅力ある存在になってほしいと願います。

さて、本日、1学期の終業式を行いました。4月の学校だよりで、学校を舟に、学校運営を航海に例えましたが、この舟はほぼ順調に4ヶ月間、航海をすることができました。これも、保護者や地域の皆様をはじめとして、多くの方々に支えられ、見守られてきたからだと思います。この4ヶ月間を振り返ると、5月には約3年間続いてきた新型コロナへの対応も終わり、多くの教育活動が伸び伸びと行えるようになりました。遠足、修学旅行、宿泊学習、校外学習など、地域に出かけに行く学習も、制約なく行うことができました。コロナ禍の功績として、ICTを用いてバーチャルで経験したり、離れた場所においてもオンラインで学んだりできるようになりましたが、子どもたちは、やはり実際の場所に行き、実物を見て、触れて、感じて学ぶことが楽しいようです。

学校は明日から約一月弱の夏休みとなります。夏休みは、子どもたちも先生方も、栄養や燃料を補給をする大切な機会です。普段はできないような経験や学びをして、一回りたくましくなって、2学期、再び皆で舟を漕ぎ出せることを楽しみにしています。

8月予定表

1日(火) 夏季休業(幼・小～20日、中～24日)	23日(水) 交通安全指導(～25日)
10日(水) 学校開庁日(～15日)	25日(金) 2学期始業式(中)
20日(日) 開舎(舎)	28日(月) 藍染体験・講話(中)
21日(月) 第2学期始業式(幼・小)	29日(火) 近代美術館オンラインアート教室(中23A)
夏季講習(中3～24日)	友和会(舎)
夏季学習会<英語>(中～24日)	30日(水) 校外学習(小3組)、耳鼻科相談日
22日(火) 二計測(幼)	31日(木) 学校公開

幼稚園、なつまつり・お泊まり会(幼稚園)

なつまつり・お泊り会を行いました。
今年度は新型コロナウイルス対策の緩和により、縁日の際に中学部のお兄さんお姉さんに出店の店員をやってもらうことができました。丁寧に遊び方を教えてくれるなど、親切で優しい店員さんでした。お手伝いをしてくれたおかげで、とても楽しい縁日になりました。ありがとうございました。そして、醍醐味の1つになっている肝試しでは、今年のテーマは「ゲゲゲの鬼太郎」でした。「怖い!」と泣き叫ぶ子や「怖くない!」とニコニコ笑顔で入る子など、子どもたちの様子は様々でした。無事に全員、鬼太郎からおやつをもらうことができて良かったです。
今年は「夕食作り」も行うことができました。年長さんが考えたメニューは「ハンバーグカレー」でした。野菜の皮をむいて切ったり、ハンバーグを丸めて焼いたり、汗をかきながら作って、年中さんや先生方に食べてもらいました。自分たちで作ったカレーライスの味はきっと格別だったと思います。
その他にも、年長さんだけで花火をしたり、お風呂に入ったりして楽しい思い出ができました。寝るときに、寂しくて泣いた子もいたけれど、心も体も大きくなったお泊り会となりました。(桑谷)

「若木まつり」に参加して(小学部)

7月14日、新陽小学校の「若木まつり」に小学部が参加させていただきました。新陽小学校のお店めぐりをしたり、本校の児童会で「楽しいボール投げ」というお店を出店したりしました。児童会では事前に、「看板」「ストラックアウト」「的当て」のチームに分かれて準備を進め、前日にはリハーサルを行いました。そして迎えた当日。4年ぶりの参加とあって、はじめは少し緊張気味の様子もありましたが、どんどんお客さんに言葉がけをしたり、素早く次のお客さんの準備をしたりできるようになっていきました。学校に戻ると、児童会長から「みんなでこんなにがんばれるなんて思っていませんでした。協力したからできました。」などの言葉がありました。本当に、有意義な経験となりました。(久門)

バドミントン部中体連大会に参加して(中学部)

6月24～25日、バドミントン中体連北区南部地区予選の個人戦男女シングルスに、部員4名が参加しました。コロナ対策が緩和され3年ぶりに男女あわせて250名ほどの選手が一堂に会し、保護者の観戦も可能になったため、会場は選手たちや応援の音が響き、熱気に満ちあふれていました。結果は、惜しくも全市大会出場まで一歩及びませんでしたが、生徒たちは、緊張の中でも練習してきたことを精一杯発揮して、全力で試合に挑みました。熱気あふれる会場の中で、地域の中学生たちと真剣勝負で競い合い、審判など大会運営の役割をしっかりとやり遂げました。3年生はこれで引退になりますが、「全力で取り組んだので、悔いはないです」と話していました。応援してくださった皆様ありがとうございました。(三林)

陸上部中体連大会に参加して(中学部)

6月25日に行われた、第76回中体連選手権大会に出場してきました。砲丸投げの部で、3年A組の池田悠真さんが11m73の記録を出し、見事札幌市1位の選手に輝きました。おめでとうございます!全道大会への切符も勝ち取り、7月25～27日には、釧路で行われる全道大会に参加してきます。悔いのないよう、持てる力を発揮し、次のステップに進んでほしいと思っています。皆さん、引き続き応援をよろしくお願いします。(貝沼)

宿泊学習を終えて(中学部)

7月6日～7日で深川市へ行ってきました。アグリ工房まあぶでのシードル工場見学や農業体験。ネイバル深川でのクライミングやレザークラフト、ペットボトルピザ作り。普段では味わうことのできない、たくさんの貴重な経験を行うことができました。最後まで一生懸命取り組む姿勢や、お互いの良さを認めること、仲間を思いやり高め合う姿など、2年生の強みが、改めて感じられた1泊2日となりました。
この泊学習での経験や深めた絆を、今後の成長につなげてほしいと思っています。(貝沼)

令和5年度 第2学期始業式について

- 期 日
幼稚園・小学部 : 令和5年8月21日(月)
中学部 : 令和5年8月25日(金)
- 日 程
(1) 幼稚園(8月21日)

9:30～10:00	学級指導
10:00～10:30	始業式
10:30～10:40	学級指導
10:40～11:10	学級懇談
11:15	下校

- (2) 小学部(8月21日)

8:30～8:50	学級指導
8:50～9:10	始業式
9:15～9:35	学級指導
2校時～	授業

- (3) 中学部(8月25日)

8:30～8:45	学級指導
8:50～9:05	始業式
9:05～9:30	学級指導
2校時～	授業

※中学部は、幼稚園・小学部とは始業式の日がちがいます。
※幼稚園の下校時刻は、11時15分となります。給食はありません。
※小・中学部は2校時以降、通常日課となります。

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

- ・学校に行きたいのに行けない・・・
- ・嫌な思いをしている・・・
- ・誰かに聞いてほしい・・・

そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談 0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

●メール相談 sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は、電話相談を利用してください。